

茨木市特別職報酬等審議会（第1回）議事要旨

1 日 時

平成25年2月26日(火) 午後5時30分～午後6時40分

2 場 所

市役所南館3階防災会議室

3 出席者

審議会委員 辰巳義行、山本晃嗣、山下克之、牧美喜男、岡初美、北尾涉、
棟田勝子（敬称略）

市 木本市長、楚和副市長、柴崎副市長

事務局 小林総務部長、下園人事課長、東人事給与係長、前田主査

4 議事概要

- ・市長挨拶
- ・委員紹介
- ・市関係者紹介
- ・茨木市特別職報酬等審議会条例の概要説明
- ・正・副会長選出（辰巳会長、北尾副会長）
- ・市長及び副市長の給料額及び市議会議員の議員報酬額並びに茨木市議会議員に対する政務調査費の額について諮問
- ・会議の公開・非公開の決定 公開に決定
- ・事務局より配付資料の説明
- ・審 議

5 発言要旨

山本委員 ・今回の審議にあたり、向こう何年間のことを考えればよいか。どのあたりのスパンを狙っての報酬額を考えたらよいか。

小林部長 ・当審議会は2年に1回のペースで開催している。これから先の景気の動向もあろうが、2年間というのが一つの目安になる。

山本委員 ・いただいた資料は、あくまで過去のデータを他市と比較したもの。将来予測的な明るいデータがあってもいいのでは。新市長にもなり、

大学の誘致も成功し、新駅設置もある。茨木の明るい将来が見えるデータなどはないか。

楚和副市長 ・ 将来予測については、予算編成時に一定の見込みを立てている。平成25年度当初予算でも大学や新駅などの経費も見込んでいる。短期的に見れば、投資ということで支出が増えることになる。その結果が出るのはもう少し先になるであろうから、ここ2～3年あたりは支出の方が多くなるであろう。

辰巳会長 ・ 事務局には、明るい見通し、暗い見通し両方に答えるかたちの資料を提供していただきたい。数字のデータに限らなくてもよいと思う。

楚和副市長 ・ 事務の電子化や業務委託、そして民営化など行革の取り組みについて、次回ご紹介させていただく。

牧 委 員 ・ 各市と比較しても人件費比率が低い。効率的な運用をされてきたのだと思うが、職員数の少ない中で、どのような工夫をされてきたのか。
・ 人件費の抑制の影に物件費の上昇ということがよくあるが、茨木市ではどうなのか。

楚和副市長 ・ 行革を通じて経費の削減に努めてきた。たしかに臨時職員数の増加はあるが、業務委託や民営化も進めてきた結果だ。
・ 関連する資料を次回お示しする。

北尾副会長 ・ 人件費の圧縮を進めると、給料は平準化してしまう。やはり、それぞれの役職に応じた水準というものがあるだろう。

辰巳会長 ・ 本日提供された資料を持ち帰り、各自よく読み込んだうえで、次回において、当資料などに基づいて議論をしていきたい。については、日程の確認をしたい。

事 務 局 ・ 当審議会は、本日を含めて全3回の開催予定で、今年度内で答申をいただければと考えている。しかし、議論によっては4回以上ということもあるだろうし、その場合は年度をまたがってもやむを得な

いと考えている。

- ・第2回を3月中旬、第3回を3月下旬で予定している。具体的な日程が決まり次第お伝えする。

(以 上)